

健康被害ひろがる中 新たな施設建設やめよ

北河内四市リサイクル施設組合 臨時会で松尾議員がもとめる

七日午後、北河内四市リサイクル施設組合臨時会がひらかれ、補正予算の専決報告や（仮称）北河内四市リサイクルプラザ建設工請負契約締結について審議されました。補正予算で松尾議員が質疑をおこないまし

た。松尾議員は施設建設予定地の向かいにある民間プラザ処理施設の本格操業にともない、悪臭、健康被害が広がっている中で、住民から「これ以上施設をつくらないでほしい」という声が寄せられていることを紹介し、四市の施設建設をやめるようもとめました。

また七月一日に実施された、工事の進捗状況等の説明会について①四市の市民を対象にする②管理者（寝

民間施設と 四市施設は一体

これにたいして、「民間施設は四市組合と別」「専門委員会ですべての意見が示されている」などの答弁がありました。

松尾議員は、大阪府が策定した、大坂エコエリア構想では、「民間施設と四市の施設は一体とされていること」「四市の施設ができれば処理量がさらにふえ、健康被害を住民が心配するのは当然」と述べ、かさねて施設建設をやめるよう求めました。

住民合意の点では、松尾議員は住民の強い反対で、廃プラ処理施設建設を凍結した東京都町田市の例をあげ、住民合意をはかるためにも、四市施設の建設

（屋川市長）が出席して住民の意見を聞くべきでなかったか、などをたどしました。

また、施設建設工事請負契約締結について、日本共産党は「安全性や住民合意に問題のある施設建設は認められない」という立場から反対しました。

請負業者は、新明和工業株式会社関西支店で、請負金額は一七億一四六五万円。

（訂正）

6月30日号の「交野養護は知的障害児に対応できていない」は「交野養護は肢体不自由児であり、知的障害児童にとつて校舎など構造上の問題があるなど条件整備ができていない状況」に訂正します。

業界 狙

富士通をはじめとすると民間大企業で始めた「成果主義」（人事評価制度）

は、今や公務や教育など、あらゆる現場に広がっています▼寝屋川市でも、課長以上の管理職に、評価制度を導入して賞与に反映させています。98年から成果主義を導入した日立製作所のDさん（32歳）は、「部下に仕事のノウハウを教える、自分が損をするから教えない」「同僚より成績が上か下か常に気になる。まるで中学校か高校にもどった感じ」と語ります▼日本大学の牧野富夫経済学部部長は「成果主義のねらいの第1は、人件費を大幅に小さくすることである。第2は、労働者間の競争をおおって、労働強化と団結破壊を狙うもの。第3は、労働力の「出し入れ自由」（流動化）を加速化するためである」と言います▼労働者同士が、仲間として助け合う関係を破壊する成果主義に展望はありません。



造成工事中の4市施設予定地

寝屋川民報

議会議版

発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線2399)
FAX No. 824-7760
Email: jpncc@ccnet.or.jp
No. 1947

田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424

中林 かずえ
宝町 4-3-33
☎ 839-2289

中谷 光夫
高宮 155-8
☎ 823-5947

松尾 信次
下木町 12-6
☎ 821-7427



い行進する太田くみ子さん

5日、国民平和行進が寝屋川市に入り、市役所前広場で集会後、デモ行進で枚方市に向かいました。

集会と行進には、日本共産党から太田くみ子府政対策委員長、中谷、田中、寺本、中林議員が参加しました。

核兵器の廃絶を 太田くみ子さんも平和行進に

老朽化した校舎の改修求める 中林議員が文教常任委員会協議会で質問

教職員の多忙化問題 労働安全衛生管理体制の確立を求める

六月市議会の文教常任委員会協議会で、中林議員は、小中学校の施設設備について、質問しました。

ある小学校の築四〇年の校舎では、雨漏り時にバケツをおいて授業をした例や、トイレの排水が悪く臭いが消えない状況、ポロポロになった校舎の外壁があることを示して、大規模改修工事や耐震化

工事がされていない老朽化した校舎の改修を求めました。

また、六ヶ年計画で進めている職員室のクローラー設置の前倒しや、車イス利用の児童が在籍する木屋小学校のスロープ設置を求めました。

スロープについては、「夏休みに工事する」と答弁がありました。

市民体育館の 施設整備を

市民体育館については、利用者の施設整備要求にこたえるよう、以下の点で求めました。

②柔道室の壁、天井、控え室等の補修。
③ガムテープ補修をやること。
柔道室の壁などについては、早急に修理する

議員日誌



中林
かずえ

夜遅くの私の携帯電話に、日頃あまり連絡のないNさんから着信がありました。

ひよつとすると、また救急入院をしたのかなと、3日の朝、連絡すると「東大阪市の長尾さんの市長当選よかったね。共産党はすごいな。寝屋川もがんばってほしい」とのこと。

私も思わず、「がんばります」と。

今、多くの市民から「なぜ、市・府民税があがったのか?」「国民健康保険料が高すぎる」「介護保険料の天引きで年金がどんどん少なくなる。等々、疑問と怒りの声が寄せられています。

国政でも、寝屋川市政でも住民のくらしを守る政治にするため、私もがんばります。

日中理論会談のようすを交え

21世紀の
日本と世界を語る

とき:7月26日(水)午後6時半~

ところ:寝屋川市民会館小ホール

講師・山下よしきさん
(元参議院議員)

主催:日本共産党
北河内南地区委員会
枚方・交野地区委員会

るとの答弁でした。

また、教職員の多忙化の問題で、学校現場では、教職員の日常的な超過勤務、休憩時間も満足ととれない状況の下、疲労とストレスによる健康被害が広がっている実態を、教育委員会が把握すべきだ

と主張しました。

また、大阪府が示した「こどもにとって、先生が健康で生き生きと教育活動ができることこそ重要」との認識を紹介し、労働安全衛生管理体制の確立を求めました。